

5ノッチブレーキ使用で呼びつけるな！

過日、指導科の前を通った、ある運転士が指導助役に呼び止められた。「〇〇駅、停止位置手前で5ノッチ使わなかった？」「ブレーキの利きが弱かったので使いましたが・・・」と答える運転士。どうやら指導助役はその運転士のブレーキ操作に難癖をつけたらしい。

今、N700系の多くが3次車だ。地震ブレーキで停止までの距離が短縮されるという改良型だ。しかし、BC圧を下げたためなかなかブレーキ効果が出ないばかりか、一度ブレーキを緩めると再ブレーキでは止まらない。

運転士は駅の勾配、天候、重量(乗車人数)を考慮しブレーキをかける。運転士にとってブレーキ操作にはかなり気を使う厄介な代物だ。またブレーキ特性は3次車でも編成により効きがバラバラだ。当然、5ノッチ使用になる場合もある。停車ブレーキで非常ブレーキをかけたのならいざ知らず、5ノッチ使用で呼ばれてブレーキ操作うんぬんと言われるのはプレッシャーだ。

指導科は停車ブレーキの基本操作を改めた。「ブレーキ操作は3両以上、3ノッチ以上」、注意事項として「乗り心地より点で止めることを優先。追加ブレーキはためらわず投入する」というが、指導科に呼ばれると思うと追加ブレーキはためらうな。運転士のブレーキ操作にヒートアップする前にBC圧をアップしてもらいたいものだ。